

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 公衆衛生学	研究機関における生活習慣病予防活動を具体的に概説する。 公的機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与亨 ※ 片桐裕史	1	後期	2 単位	必修
2 医用工学総論	病院での臨床経験を踏まえ、病院における臨床工学技士の役割について解説する。また、企業での機器開発経験を踏まえ、臨床における工学の応用について概説する。	氏平 政伸	廣瀬 稔 ※ 熊谷 寛 ※ 氏平 政伸 ※ 稲岡 秀検 ※ 久保田 勝 ※ 小久保謙一 ※ 酒井 利奈 ※ 塚尾 浩 ※ 守田 憲崇 ※ 小川 恵美悠 ※ 小林 こず恵 ※ 吉田 和弘 ※ 小菅 智裕 ※ 小川 貴康 ※ 馬淵 清資 ※	1	前期	2 単位	必修
3 医用機器学Ⅰ (演習含)	企業での機器開発経験を踏まえ、生体計測装置の原理と構造について解説する。	氏平 政伸	氏平 政伸 ※ 鉢村 和男	1	後期	1 単位	必修
4 医用機器学Ⅱ (演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、使用機器について解説する。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 小久保謙一	1	後期	1 単位	必修
5 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢 田明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
6 解剖・生理学実習	解剖学分野では、病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。また、生理学分野では、研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	門谷 裕一	門谷 裕一 ※ 小畑 秀一 ※ 田口 明子 ※ 林 徹 ※ 木村 武俊 ※ 石橋 仁 ※ 秋田 久直 ※ 緒形 雅則 ※ 小島 史章 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
7 病理学	病院、企業などでの病理学に関する業務の経験を踏まえ、疾病の発症機構、病態、病理所見を概説する。	高橋 博之	高橋 博之 ※ 松本 俊英 ※	2	前期	2 単位	必修
8 生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究成果が人体を理解する上でどのように役立っているか概説する。	川島 麗	川島 麗 ※ 市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 前川 達則	2	後期	2 単位	必修
9 応用数学 I	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	前期	2 単位	必修
10 応用数学 II (演習含)	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	後期	1 単位	必修
11 電気工学 II	企業での機器開発経験を踏まえ、臨床分野で電気工学を学ぶ必要性や実用例の紹介を行う。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	2	前期	2 単位	必修
12 電気工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いた測定系について実例を挙げて解説する。 企業での機器開発経験を踏まえ、医用電気工学の基礎的な原理解説や、回路組立てと安全に実験を遂行するための指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 恵美悠 ※ 小菅 智裕 ※	2	後期	1 単位	必修
13 システム工学実習	企業での機器開発経験を踏まえ、制御工学の応用例について解説し、病院や企業で実務上必要とされるチーム力を身につけるための(チームビルディング)指導を行う。	吉田 和弘	吉田 和弘 ※ 氏平 政伸 ※ 酒井 利奈	2	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
14 計測工学	企業での機器開発経験を踏まえ、実務上必要とされる計測工学の基礎とそれがどのように応用されているかについて解説する。	酒井 利奈	酒井 利奈 ※ 吉田 和弘	2	前期	2 単位	必修
15 生体計測装置学（演習含）	病院での臨床経験を踏まえ、生体計測装置の操作や装置利用による診断について解説する。企業での機器開発経験を踏まえ、装置の原理・構造について解説する。	氏平 政伸	片桐 真人 ※ 氏平 政伸 ※ 酒井 利奈 ※ 吉田 和弘 ※ 姫田 久美 ※ 宇治橋 善勝 ※ 荒幡 篤 ※ 鈴木 保 ※ 大田 未知 ※	2	通年	2 単位	必修
16 生体計測装置学実習	企業での機器開発経験を踏まえ、装置の原理・構造について解説する。	吉田 和弘	吉田 和弘 ※ 氏平 政伸 ※ 酒井 利奈	2	後期	1 単位	必修
17 医用治療機器学	病院での臨床経験を踏まえ、手術室等で用いられる治療機器の実際的な運用や保守点検について解説する。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 小川 惠美悠 ※ 小林 かず恵 ※ 小川 貴康 ※ 大島 弘之 ※ 早速 慎吾 ※ 藤井 正実 ※ 武田 章教 ※ 立野 聡 ※	2	通年	3 単位	必修
18 生体機能代行装置学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、呼吸療法に関する実務について解説する。	久保田 勝	久保田 勝 ※ 塚尾 浩 ※ 小川 貴康 ※ 早速 慎吾 ※ 木下 春奈 ※ 佐々木 健 ※	2	後期	4 単位	必修
19 生体機能代行装置学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、心臓手術における体外循環装置および補助循環装置の意義及び実際の手術や生命維持管理装置の操作などを概説する。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 小久保 謙一 ※ 鳥井 晋三 ※ 北村 律 ※ 宮本 隆司 ※ 東條 圭一 ※ 古平 聡 ※ 藤井 正実 ※ 木下 春奈 ※ 大島 弘之 ※	2	後期	4 単位	必修
20 生体機能代行装置学実習Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、人工呼吸器の操作・保守点検について実技指導を行う。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 小川 貴康 ※ 中村 恭子 ※	2	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
21 臨床医療学 I	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 鈕持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
22 薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているか概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	3	後期	2 単位	必修
23 電子工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について実例を挙げて解説する。 企業での機器開発経験を踏まえ、医用電子工学における原理や応用例の解説、回路組立て・実験を安全に遂行するための実習指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 恵美悠 ※ 小菅 智裕 ※	3	後期	1 単位	必修
24 医用機械工学	企業での機器開発経験を踏まえ、医用機械の原理と構造を解説する。	氏平 政伸	氏平 政伸 ※ 酒井 利奈 ※ 吉田 和弘 ※	3	通年	3 単位	必修
25 情報処理工学 II (演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、デジタル信号処理を学ぶ意義及び実際の臨床現場でデジタル信号処理がどのように展開されるのかを概説する。	守田 憲崇	守田 憲崇 ※	3	通年	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
26 医用治療機器学実習	病院での臨床経験を踏まえ、各種治療用機器の適切な操作方法について解説する。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※ 海老根智代 ※	3	前期	1 単位	必修
27 生体機能代行装置学Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、血液浄化部門における臨床工学技士の業務について解説する。	小久保謙一	小久保謙一 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※ 吉田 一成 ※ 小林 直之 ※ 山家 敏彦 ※ 峰島三千男 ※ 松崎 圭祐 ※	3	前期	4 単位	必修
28 生体機能代行装置学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、体外循環装置と補助循環装置の原理・構造、操作方法を概説し実習指導を行う。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 塚尾 浩 ※ 小川 貴康 ※ 大島 弘之 ※ 海老根智代 ※	3	前期	1 単位	必修
29 生体機能代行装置学実習Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、血液浄化療法に関わる生体機能代行装置の適切な操作方法について解説する。	小久保謙一	小久保謙一 ※ 塚尾 浩 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※	3	後期	1 単位	必修
30 機器安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、医療機器の安全管理に必要な規格や管理方法、医療における臨床工学技士の役割などを概説をする。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 小林こず恵 ※ 東條 圭一 ※ 古平 聡 ※ 早速 慎吾 ※	3	通年	4 単位	必修
31 機器安全管理学実習	病院での臨床経験を踏まえ、医療機器の安全管理の考え方や管理方法などを実習指導する。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※ 早速 慎吾 ※	3	後期	1 単位	必修
32 医療ケア安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、医療安全の法的な位置づけ等について解説を行う。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 渡部麻衣子 ※ 城戸 滋里 ※ 小林こず恵 ※ 鍵谷 豪 ※	3	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
33 臨床医療学特論	病院等での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	久保田 勝	東條美奈子 ※ 久保田 勝 ※ 北里 英郎 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 市川 尊文 ※ 堀江 良一 ※ 久保 誠 ※ 佐藤 隆司 ※ 中村 正樹 ※ 岩満 優美 ※ 新井 正康 ※ 藤田 哲夫 ※ 大谷 慎一 ※ 佐藤 澄人 ※ 石井 大輔 ※ 藤木く子 ※ 市川 雷師 ※ 松田 弘美 ※ 深谷 英平 ※ 郡山 恵子 ※ 目黒健太郎 ※ 酒井 健史 ※ 鈴木 陽彦 ※ 田島 弘 ※	3	通年	4 単位	必修
34 医療情報学	病院での臨床経験を踏まえ、研究論文作成方法および臨床工学技士国家試験出題問題への対策とその知識が臨床現場でどのように展開されるのかを概説する。	守田 憲崇	守田 憲崇 ※ 有阪 直哉 ※ 妹尾 裕介 ※	4	通年	4 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
35 臨床実習	病院での臨床経験を踏まえ、臨床実習として実際の医療現場で臨床工学技士関連業務の指導を行う。	廣瀬 稔	小侯 利幸 ※ 倉本真紀子 ※ 折田 祥悟 ※ 佐々木 健 ※ 寺田 直正 ※ 東條 圭一 ※ 古平 聡 ※ 藤井 正実 ※ 木下 春奈 ※ 早速 慎吾 ※ 小山 誠 ※ 佐藤 栄治 ※ 立野 聡 ※ 大島 弘之 ※ 武田 章敦 ※ 田村美沙紀 ※ 中村 恭子 ※ 海老根智代 ※ 白井 敦史 ※ 飯島 光雄 ※ 棟方 伸一 ※ 内田 一弘 ※ 宇治橋善勝 ※ 佐橋久美子 ※ 三浦 芳典 ※ 槇田 喜之 ※ 宮内 和美 ※ 石田 裕美子 ※ 遠藤留美子 ※ 菊池 敬 ※ 秦 博文 ※ 稲田 龍司 ※ 大関 裕介 ※ 塙 宏典 ※ 秦 千都 ※ 廣瀬 稔 ※ 塚尾 浩 ※ 小川 貴康 ※	4	前期	6 単位	必修
36 分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、先天的、後天的出血性疾患についての臨床的意義について講義し、また実際の血液補充療法や薬物療法がどのように展開されているのかを概説する。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
37 臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・医師として病院、検査センター、健診センター、研究所、企業での経験を踏まえ、各分野での臨床検査の意義、様々な医療現場において活躍する臨床検査技師の役割及び臨床検査技師・細胞検査士の実際の業務について概説する。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村由香里 ※ 長塩 亮 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
38 ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究所・企業での研究経験を踏まえ、医療知識が災害や国内外のボランティア活動にどのように活かされているかを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQクラブ	全	後期	2 単位	自由
39 神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実務経験を踏まえ、神経活動、神経伝達、神経系構造と役割について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由
40 社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、社会・集団における対人・自己認知や家族機能の正常および病的なメカニズムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由
41 感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、感情・人格の正常および病的なメカニズムを概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由
42 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、医学における研究トピックス及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由
43 生体信号計測概論	企業での機器開発経験を踏まえ、生体信号計測機器の利用と開発に必要な基礎知識について概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
合計						89 単位	